

# 2022年度事業報告書

特定非営利活動法人 豊中市青少年野外活動協会

## 1. 事業期間

2022年4月1日～2023年3月31日

## 2. 事業の成果

### ● 総括

新型コロナウイルス感染症の脅威が一定の収束を迎え、市民の社会活動が再び活発になりつつあります。これらを踏まえ 2022 年度は「拡大」をテーマに多種多様な事業を展開いたしました。たくさんの事業が定員を上回る応募があり、理事・職員・カウンセラー・その他協会関係者が連携を図りながら精力的に活動しました。

豊中市立青少年自然の家「わっぱる」におきましては、一般利用、団体利用ともに回復していく中で感染症対策も引き続き行う必要もあり、職員をはじめとするスタッフ全員がフル稼働した結果、なんとか乗り切ることが出来ました。2021 年度より指定管理委託料の削減に伴い職員が半数になるなか導入したサポートスタッフ制度が効果的に機能してきています。

協会全体を通して大切にしてきた「人が集まる流れ」が少しずつではありますが大きくなってきています。関わり方は様々ですが野協が好きという想いを一つに引き続き人と人、人と自然が繋がっていくよう邁進いたします。

### ● 豊中市からの受託事業及び協会主催事業

豊中市からの受託事業として、民間事業者とのコラボレーション企画事業を3本実施し、わっぱるの新しい魅力開発に努めました。また、従来の利用者層以外の方に参加していただくことで、わっぱるの知名度の向上と、新たな利用者層の開拓に取り組みました。

協会主催事業は、ほぼすべての事業をわっぱるで実施しました。最大 2 週間まで宿泊可能ないついつキャンブ、とよなか夢基金の助成を受けて大人のクラフトやわっぱる設立 60 周年記念シンポジウムなど、「拡大」のテーマに沿って新しい形態の事業にチャレンジしました。

### ● カウンセラー育成

野外活動及びグループワークを実践しながら子どもと関わるができる、優れた指導者の育成を目的に様々な取り組みを行いました。コロナ禍において、各種研修や新人の募集活動を、会議システム「zoom」等のオンラインサービスを活用しつつ、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえでの対面実施を積極的に行ないました。わっぱるを会場とした日帰りや宿泊の研修も積極的に実施することができカウンセラーの経験値も向上しています。

また、協会全体のオンラインツール活用レベルが大幅に向上しています。結果として、ハイブリッド型（対面とオンラインの併用型）やオンライン特化型のスタイルも安定的に運用することができています。

理事によるオリエンテーションや面談、新人向けの説明会、カウンセラー会による定期的実施するミーティングなどを通じて、協会の活動や方向性を浸透させることや、カウンセラー同士の関係性の向上にも取り組んだことで、

多くの新人が入会するとともに、継続率も高まりました。そのうえで、2022 年度末には、活動できていない（休眠状態）カウンセラーについては確認を進め精査を行いました。結果として、より強固な体制を整え、新年度を迎えることができています。

- 「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」の管理運営

指定管理者として、3期目の2年目の運営を行いました。5年間の指定管理期間を通じた基本テーマとして、「人と人・人と自然が繋がる わっぱるの森」を掲げています。2022 年度もわっぱるの運営に、より多くの人に関わっていただき、安心・安全な運営に努めました。特に、常勤職員3名の内、1名が3か月間（10月～1月）の病気療養のため休職し、その間、非常勤職員やサポートスタッフの方々には、これまで以上のサポートで人員減のカバーにご協力いただきました。

新型コロナウイルス対策としては、従来に引き続き、市社会教育課と連携を取りながら、協会ガイドライン及び利用対応マニュアルに則して、感染拡大防止に努めながら利用の受入れを行いました。また、古くてもきれいな安心感のある施設を目ざし、こまめな点検、清掃、消毒を実施しました。

利用に関する取り組みとしては、新型コロナウイルスの影響により、繁忙期の7、8月の利用は団体を中心に大きくキャンセルが入り、家族利用も雨でキャンセルになったりと、コロナ前のような利用には戻りませんでした。

年間を通じては、日帰り利用だった学校が宿泊になるなどしたこともあり、2021年度を上回る方々（延べ7,300名）にご利用いただきました。また、広報の窓口拡大の一環としてInstagramを開設し、SNS等を通じた発信やホームページ上のわっぱる便りの更新も継続的に実施しています。

主催事業に関しては、子どもたちをはじめ、親子、指導者、いろいろな方々に自然との繋がり、人との繋がりを感じてもらうことができました。

### 3. 事業の実施状況

#### (1) 野外活動等に関する事業

##### ① 協会主催事業

NO	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数	スタッフ (内 Co)	プログラム
1	いついつキャンプ 小学 1～6 年生 各日 5 名	8 月 8 日(月)～ 21 日(日)	8,000 円 1 泊 2 日	37	17 (12)	こども会議、水 遊び、花火、モ ルックなど
2-1	アウトドアクラブ BBQ 中学生・高校生 10 名	5 月 29 日(日)	6,000 円	3	4 (3)	BBQ、はげ山 ハイキング
2-2	アウトドアクラブ キャンプ 中学生・高校生 10 名	7 月 30 日(土) ～31 日(日)	13,000 円	4	4 (1)	川遊び、虫トラ ップ、炊事など
2-3	アウトドアクラブ たき火 中学生・高校生 10 名	11 月 20 日(日)	6,000 円	3	3 (0)	たき火
3	わっぱる 60 周年記念 シンポジウム	2 月 18 日(土)	クラフト代 のみ実費	43+ 6(登壇)	22 (7)	シンポジウム、 クラフト、展示
4-1	大人のクラフト スプーンづくり	6 月 11 日(土)	3,500 円	2	1	木のスプーンづ くり
4-2	大人のクラフト ハンティングチェア	7 月 18 日(日)	5,000 円	6	2	三本脚のハン ティングチェア作 り
		7 月 24 日(日)	1,500 円	2	2	
4-3	大人のクラフト 手作りナイフ	8 月 28 日(日)	5,000 円	3	2	ナイフの柄づくり
4-4	大人のクラフト 森の小皿	9 月 25 日(日)	3,500 円	2	2	木の小皿づくり
4-5	大人のクラフト スプーンづくり	10 月 23 日(日)	3,500 円	3	1	木のスプーン作 り
4-6	大人のクラフト タンブラーづくり	11 月 26 日(土)	6,000 円	2	2+ 1(講師)	ウッドターニング でタンブラー、 小皿づくり
		11 月 27 日(日)	6,000 円	3	2+ 1(講師)	
4-7	大人のクラフト ククサ&トートバッグ	12 月 17 日(土) ～18 日(日)	15,000 円	3	2	ククサとトートバ ッグづくり

※NO 3～4-7 は、令和 4 年度（2022 年度）市民公益活動基金（とよなか夢基金）の助成を受けて実施した事業となります。

※NO3 の登壇者は以下の方々です。

一般財団法人大阪府青少年活動財団 今井正裕さん

NPO法人キャンピズ 水流寛二さん  
 公益社団法人YMC A 岡本泰宏さん  
 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会 飯野博道さん  
 大阪府森林組合 花崎由泰さん  
 カフェソト グリーンウッドワークスクール 福畑慎吾さん

② わっぱる主催事業

区分	事業概要	事業数
A	わっぱるキッズ事業（小学生対象の日帰り・宿泊自然体験）	9
B	オープンフェスタ（家族対象の日帰り自然体験）	2
C	たき火 day（家族対象の日帰り自然体験）	0
D	指導者育成・交流事業	3
E	社会課題解決型事業	2

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
1	A	カレーづくり 小学1～3年生 各20名	5月28日(土)	6,000円	18(19)	12(10)	カレーづくり
			5月29日(日)	現地集合5,000円	18(33)	11(9)	
2	A	生きもの観察 小学4～6年生 各20名	6月18日(土)	6,000円	6(6)	9(6)	森、川、プールなどで昆虫・水生生物の採集と観察
			6月19日(日)	現地集合5,000円	5(6)	9(6)	
3	D	ワークキャンプ 青少年指導者	6月24日(金) ～26日(日)	無料	野協23(内Co3) 他団体29		川原清掃、プール掃除、草刈り、宿舎清掃など
4	A	サマーキャンプ 小学1～2年生 40名	7月30日(土) ～31日(日)	13,000円 現地集合12,000円	41(69)	30(18)	宿舎泊、野外炊事、川遊び、クラフトなど
5	A	サマーキャンプ 小学3～4年生 40名	8月5日(金) ～7日(日)	18,000円 現地集合17,000円	33(42)	23(13)	宿舎・テント各1泊、野外炊事、川遊びなど
6	A	サマーキャンプ 小学5～6年生 30名	8月19日(金) ～21日(日)	18,000円 現地集合17,000円	22(25)	19(10)	野宿・山小屋各1泊、野外炊事、料理コンテスト、ナイトウォークなど
7	D	ワークキャンプ 青少年指導者	9月3日(土) ～ 4日(日)	無料	野協28(内Co7) 他団体9		側溝・水路掃除、草刈り、プール撤収、雨樋そうじなど

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
8	E	ユースチャレンジキャン プ 困難を有する若者 10名	9月21日(水) ～25日(日)	8,000円	8(8)	野協 9(2) キャリア 8	勇者の道入り口ホット休憩所 設置、ベンチ・看板製作
9	A	ハイキング 小学1～6年生 各20名	10月22日 (土)	6,000円	16(21)	9(3)	はげ山、滝コースハイキング、メ ステイン料理など
			10月23日 (日)	現地集合 5,000円	18(21)	10(6)	
10	B	里山の秋 オープンフェスタ 家族グループ各100 名	11月12日 (土)	大人 2,000円 宿泊 6,000円 中学生以下 1,000円	102 内泊 24 (114)	野協 18(5) 他 7	ピザづくり、クラフト、たき火、似 顔絵、折り紙、科学実験、天 体観測など
			11月13日 (日)	宿泊 4,000円 3歳以下 300円 宿泊 500円	95 (108)	野協 16(5) 他 7	
11	D	青少年指導者 研修 指導者 各日24名	11月20日 (日) 武道館ひびき	2,000円	11(6)		森の保育士・山口氏が講師 自然に触れる体験と、対話か ら関わりについて考える。 武道館ひびきとわっばるで実 施。
			11月26日 (土) わっばる	5,000円	8(3)		
12	A	冬キャンプ(クリスマ ス) 小学1～3年生 40名	12月10日 (土)～11日 (日)	13,000円 現地集合 12,000円	39(52)	27 (19)	野外炊事、キャンプファイヤ ー、クラフトなど
13	A	クッキング 小学1～6年生 各20名	1月14日(土)	6,000円	18(20)	7(4)	メステインでパスタ料理とピザ窯 でおやつ作り
			1月15日(日)	現地集合 5,000円	20(20)	8(2)	
14	B	里山の冬 オープンフェスタ 家族グループ各60 名	1月28日(土)	大人 2,000円 中学生以下 1,000円	25(28)	15(0)	雪遊び、たき火、火おこし、薪 割り、クラフト、屋台など
			1月29日(日)	3歳以下 300円	17(29)	13(1)	
15	A	冬の森キャンプ 小学4～6年生 20名	2月11日(土) ～12日(日)	15,000円 現地集合 14,000円	17(17)	13(7)	山小屋泊、野外炊事、火文 字、ローブクラフトなど

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
16	E	防災キャンプ 家族・グループ 40名	3月4日(土) ～5日 (日) 1泊2日	高校生以上 8,000円 中学生以下 6,000円 3歳未満 500円	14(23)	野協 13 (内 Co5) 地域の防災 活動に取り 組まれている 方など	緊急時の避難所開設のシミュレーションや火起こし、非常食の試食、市の部局（危機管理室、上下水道局、消防）による出前プログラムなど。

### ③ 受託事業

NO	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ数	コラボ先企業 プログラム
1	1人1泊キャンプ ひとり親家庭の小学生を含む家族 30組	7月16日(土) ～17日(日) 1泊2日	大人 5,000円 小中学生 3,000円 ※児童扶養手当受給世帯に割引あり	26組 62名 (36組 79名)	20名 内 Co8名 ※ コラボ先よりスタッフが派遣された	(株) YESセントラル 川遊びやテント泊、野外料理(メスティン使用)、ウォークラリー、クラフト、室内でのレクリエーションなど
2	教育文化事業 Iサティンガのせ 近隣の家族・グループ 各日約 150名 ※バスが 80名 ※現地集合が 24組	10月29日 (土) 10月30日 (日) 各日帰り	中学生以上 1,500円 小学生以下 1,000円	① 29日 41組 122名 (42組 124名) ② 30日 34組 117名 (37組 125名)	32名 内 Co5名 ※ 他に、能勢や豊中の団体が5団体9名参加 ※メインプログラムの講師として1名参加	メインプログラムとして、気象予報士の片平敦さんの講演。 また、能勢や豊中の団体による、体験プログラム(手裏剣、ドローン、染め物、革細工、木工体験、釣り堀など)や、物販(サイダーなど)。
3	ネットワークキャンプ 家族・グループ 15組	3月11日(土) ～12日(日) 1泊2日	高校生以上 5,000円 中学生以上 4,000円	15組 44名 (18組 55名)	野協 26名 内 Co14名 ※ コラボ先より、講師やスタッフが派遣された。	・(株) 平田タイル ・ウィリースタジオ わっぱるの施設整備を実施。スタンドグラス及びタイルアート作品を製作。タイルアート作品で館内を装飾。

## (2) 野外活動等の指導者育成事業

### ① 指導者の推移

所属するボランティア（キャンプカウンセラー）の人数は以下のように推移しています。

2022年度	51名 (15名)	2021年度	71名 (21名)	2020年度	60名 (7名)
--------	--------------	--------	--------------	--------	-------------

※いずれも年度末（3月31日時点）での登録者。カッコ内は当該年度の新規入会者数。

※2022年度末、一定の基準をもとに登録者の精査を実施。

### ② 指導者への研修実施

以下の研修を実施しました。

日程	会場	内容	参加カウンセラー
4月3日(日)	服部緑地公園	新年度キックオフ・カウンセラー交流（カウンセラー会）	24名
5月8日(日)	わっぱる	野外活動の技術、フィールドの理解等	11名
5月12日(木)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修①（理念・カウンセラー・野外活動等）	13名
6月4日(土)～ 5日(日)	わっぱる	野外活動の技術、フィールドの理解等	22名
6月9日(木)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修②（プログラムについて）	13名
7月2日(土)～ 3日(日)	わっぱる	救急法、野外炊事、テント設営、キャンプファイヤー等	35名
7月7日(木)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修③（レクリエーションについて）	7名
7月23日(土)	ハイブリッド実施 ※	コンプライアンス(個人情報、ハラスメント)について	8名
9月10日(土)～ 11日(日)	わっぱる	夏の振り返り、下期に向けた目標設定等	11名
10月6日(木)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修④（3Dについて）	4名
11月6日(日)	ふれあい緑地	カーニバル研修(企画実践研修)	36名
11月20日(日)	ひびき	青少年指導者研修会（屋内編）	8名
11月26日(土)	わっぱる	青少年指導者研修会（屋外編）	4名
1月21日(土)	わっぱる	冬の野外活動技術、プログラム、活動の振り返り	4名
2月22日(水)～ 23日(木祝)	キャンピィだいとう	リーダー交流フェスタ（外部研修）	5名

※ハイブリッド実施：カウンセラーームにおける対面と zoom 会議による遠隔参加

### ③ カウンセラーへの面談

#### A) 新人オリエンテーション

2022年度入会者向けに、協会の概要や活動予定、組織キャンプについてのオリエンテーションを行いました。

#### B) パーソナルミーティング

年度末にカウンセラーへの面談（パーソナルミーティング）をオンライン会議システム「zoom」にて実施。1年の振り返りと今後の目標、協会への要望などについて話し合いました。1月～2月に各階層ごとに実施しました。

#### ④ 新人カウンセラー獲得のための活動

オンラインを中心に以下の取り組みを行った結果、15名のカウンセラー登録がありました。

##### A) オンライン説明会

zoom を活用して、入会を検討している方向けに団体概要や活動内容の紹介を行いました。(1回1時間程度) 2022年度は新たに募集チームを発足し、カウンセラーが積極的に関わって実施することができました。

##### B) その他のオンラインでの取り組み

- 団体ホームページ内の募集ページをリニューアル
- ボランティア紹介サイトへの登録。重点期間(4月～5月)には有料サービスを使って募集を強化
- クリエイティブチームを発足させ、動画等を作成。継続して魅力配信のコンテンツを製作中
- 「Instagram」において活動の様子を発信 (@yakyoco)

##### C) 現役カウンセラーに友人・知り合いへの紹介依頼

#### ⑤ カウンセラーミーティング

カウンセラー会が主催。主にオンラインで実施しました。1～2年目のカウンセラーを対象に、座談会形式で、活動で悩んでいること、疑問に思っていることに対して先輩カウンセラーが回答、またプログラムの実践等を不定期で実施しました。

#### ⑥ その他の取り組み

育成指導者の事業傷害保険料加入、ユニフォームの新調、共通物品の購入、交通費の費用弁償、謝礼金支払い等を実施。

### (3) わっぱる管理運営事業

#### ① 職員配置

豊中市立青少年自然の家の適切な管理運営を行うため、以下のように職員・スタッフを配置し業務に従事しました。

【職員・スタッフの内訳】

雇用形態	職名	職員数	担当する業務内容	役割
常勤職員	所長	1	指定管理業務の企画立案と運営、主催事業の企画立案、利用料他収入管理、施設管理、労務管理、豊中市との連絡調整業務、職員の研修計画策定	業務運営責任者
常勤職員	指導員	2	利用者対応、施設管理、主催事業担当、個人情報管理、ホームページ更新、SNS等情報発信	利用者対応 業務運営
常勤職員計		3		



雇用形態	職名	職員数	担当する業務内容	役割
副理事長	運営事業部長	1	指定管理業務全体の統括	統括責任者
理事	職員	1	森の整備計画の策定と実行、利用促進策の企画・運営、利用者対応、施設管理	森林整備担当
非常勤職員 (通年)	職員	1	利用促進策の企画・運営、利用者対応、施設管理	プログラム開発担当 業務運営
非常勤職員 (通年)	アルバイト	1	施設管理、外注契約指導・履行確認、安全衛生管理、物品調達、施設管理、備品管理	施設管理担当
理事	施設整備担当	1	施設管理・森林整備の作業	施設管理担当
非常勤職員 (通年)	サポート スタッフ	10	利用者対応、整備・清掃等作業	業務運営補助・ 施設整備補助
事務局職員	事務局職員	1	各種メンテナンス契約事務、利用者対応補助、施設管理補助	
理事	財務担当	1	経理業務、労務管理（協会本部）	労務管理責任者 経理業務責任者
非常勤職員計		17		

## ② 運営関係

### A) 利用状況

指標	最高評価 サービス水準	確保すべき サービス水準	2020 年度	2021 年度	2022 年度
利用団体数(団体)	340	280	196	309	291
利用者数(人)	16,000	13,000 (2023 年度～ 7,800)	4,172	5,203	7,313
利用率(%)	30%	15%	25%	40%	50%
主催事業実施数	15	10	9	16	16

### B) 主催事業実施状況

3章 事業の実施状況に記載しているため、本節では省略します。

### C) その他の活動

- スリーピングシーツの提供、飲料や薪等の物販、クラフト、プログラム指導（有料）などを行いました。
- インターンシップ大学生（2名）受け入れ（8～9月）、主催事業、利用者対応の他、掲示物制作、SNSでの自然に関する発信などを体験してもらいました。
- 利用促進のための企画として、ピザづくり体験会、畑プロジェクトを実施しました。

### ③ 管理関係

#### A) 施設管理の外部委託状況

以下の業務を外部業者に委託しました。

- 施設警備
- 食堂運営、清掃業務
- 自家用電気工作物保守点検
- 消防設備機器保守点検
- 浄化槽設備維持管理
- 給湯用ボイラー保守点検
- 暖房用ボイラー保守点検
- 水質管理機器保守点検
- ろ過装置保守点検
- 水質検査
- ごみ処理
- 天体望遠鏡保守

#### B) 施設管理に関する実施項目

- 水質検査の基準値異常値対応

##### ➤ 事象

水質検査で基準値（0.6mg/ℓ）以上の塩素酸（1.12mg/ℓ）が検出されました。  
（7/11）

##### ➤ 原因

気温が上昇し始めた5月下旬に浄水場内のエアコンが故障しました。業者に連絡し、交換を依頼しましたが、1か月かかることが判明しました。修理が完了するまでの間に、浄水場内の気温上昇によって塩素の分解が進んだことと、塩素分解抑止のためのタンク洗浄を実施していなかったことと思われる。

##### ➤ 応急措置

大阪府環境衛生課の指示により水質検査結果通知の翌日から7/29まで、浄水を飲用禁止（煮沸でも不可）とし、該当期間の利用者へ直接連絡しました。野外での炊飯や食堂に必要な飲用水は、社会教育課並びに水道局が調整し、市から備蓄水を手配していただくことができました。また、塩素注入装置の業者にてタンクの洗浄と塩素の交換を実施しました。

##### ➤ 対応

大阪府環境衛生課の指示を受け、塩素注入装置や浄水設備の業者と連絡を取り、浄水場内の温度管理、薬液タンクのサイズ検討、10月までの検査結果の経過観察を行ないました。

##### ➤ 所感

塩素酸の再検査で基準値内に戻るまでの期間、夏の繁忙期の利用者や関係者にご心配とご迷惑をおかけし、またスタッフにも負担をかけることになりました。水道設備に限らず施設の管理や整備について、業者との連携をさらに強化していく必要があると痛感しました。

- 豊中市予算による工事対応
  - 食堂、ホールの床研磨及び塗装工事
 

1～2月の休所期間中に実施していただきました。工事に伴うピアノや冷蔵庫、机などの備品の移動・再配置に合わせ、使用していない備品を廃棄処分しました。
  - 浄水場の滅菌装置入れ替え、膨張タンク配管工事
 

1～2月の休所期間中に実施していただきました。滅菌装置の入替工事は、工事申請、部品の納期に時間を要しましたが、設置後の水質検査が休所期間内に完了したため、3月の利用再開には間に合うことができました。
  
- 年間を通じ、以下の整備業務を実施しました。
  - 食堂のテーブルクロス張替（4月）
  - カウンセラー事務所（都間都）の外壁補修（4月）
  - 浴室の鏡交換（5月）
  - 管理棟玄関前デッキ補修（6月ワークキャンプ）
  - 管理棟・宿泊棟外壁清掃（6月ワークキャンプ）
  - 管理棟玄関ホールのテーブル交換（9月ワークキャンプ）
  - 1～3山小屋の棚の撤去（9月）
  - 勇者の道にホット休憩所設置（9月ユースチャレンジキャンプ成果物）
  - 台風後の倒木（7本）片づけ（9月）
  - なみだ橋補修（10月）
  - 大駐車場に区画ロープ設置（10月）
  - つつじの里ウッドデッキ改修（1～2月）
  - 枯松の伐採、玉切り（レンガ広場、南の沢）（1～3月）
  
- 年間を通じて実施している日常的な整備業務は以下の通りです。
  - 各場所・設備・物品等の逐次点検、清掃、消毒
  - 場内の水路補修、側溝掃除
  - 破損した道具類の修繕

#### C) 業者による整備

- 宿泊棟 2F トイレの配管修理（4月）
- サイトテーブルの屋根設置（ねむ、ささゆり）（6月）
- 浄水場エアコンの取替（6月）
- 厨房（食品庫の奥）冷蔵庫の設置（8月）
- 府道（場外・バス停～正門）歩道の柵交換（12月・池田土木案件）
- 食堂・ホールの床工事（研磨・塗装）（1～2月・施設課案件）
- 浄水場滅菌装置の入替（2月・施設課案件）
- 膨張タンク配管工事（2月・施設課案件）

- 事務所内電話交換機・電話機入替、宿直室への内線工事（2月）
- 第4炊事場水道管工事（2月）
- 大規模伐木（3月）

（4） 野外活動等に関する情報提供事業

A) 協会ホームページ

- カウンセラーや職員の募集や協会の活動を広報するため、記載内容に追加や修正を行いました。

B) わっぱるのホームページ

- 事業の予告や活動報告、参加者募集に活用が進むように環境を整えました。
- 参加者説明会を Youtube で視聴者限定の配信をするなど、当日参加できない場合だけでなく、後から見返すことができるよう環境を整えました。

（5） 野外活動等を実施しようとする団体への指導者の派遣

各種団体が計画する野外活動等の事業に関し、当該団体からの依頼により、当協会の事業目的に照らし適当と認められる事業について指導者を派遣しました。

※2022年度は以下の3件に派遣しました。

- 刀根山小学校 地域子ども教室にてクラフト指導（7月）
  - 40名 ゆらゆらネイチャーライトの制作
- 職場体験イベント出展（12月）
  - 80名 松ぼっくりツリーのクラフト指導と環境インストラクターの仕事についての講座
- しょうないキッズランド出展 クラフト指導（12月）
  - 60名 木の写真立て制作

（6） 野外活動の調査研究事業

主に、以下のような調査研究事業を行いました。

- 野外活動に関する資料、書籍の収集
  - 動植物、野外料理に関する書籍等
- 野外活動等のフィールド調査
  - 周辺地域のハイキングコースや周辺施設への訪問・調査等
- プログラム開発のための諸調査
  - クラフトやアウトドアクッキングの情報収集・練習、他施設のプログラム調査等

## 4. 総会の開催状況

### (1) 2022年度通常総会（2021年度事業報告・収支報告）

- 日 時：2022年6月12日（日）10:00～11:30
- 場 所：豊中市立中央公民館
- 会員総数：31名
- 出席者数：25名
  - うち会場出席 15名
  - うちオンライン（zoom）出席 2名
  - うち委任状出席 8名
- 内 容：
  - 第1号議案 2021年度事業報告に関する承認の件
  - 第2号議案 2021年度収支報告に関する承認の件審議の結果、賛成多数で可決承認。

### (2) 2022年度通常総会（2023年度事業計画・収支予算）

- 日 時：2023年3月19日（日）10:00～12:00
- 場 所：豊中市立中央公民館
- 会員総数：31名
- 出席者数：26名
  - うち会場出席 16名
  - うちオンライン（zoom）出席 1名
  - うち委任状出席 9名
- 内 容：
  - 第1号議案 任期満了に伴う新任理事選任の件及び報酬の件
  - 第2号議案 2023年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件
  - 第3号議案 2023年度年会費の額の承認の件
  - 第4号議案 決算総会実施に関する承認の件審議の結果、賛成多数で可決承認。

## 5. 理事会の開催状況

協会運営、事業予算、事業進捗確認等に協議しました。

回数	開催日付
第1回	2022年4月6日
第2回	2022年5月16日
第3回	2022年6月8日
第4回	2022年7月6日
第5回	2022年9月7日
第6回	2022年10月5日
第7回	2022年11月2日
第8回	2022年12月7日
第9回	2023年1月11日
第10回	2023年2月8日
第11回	2023年3月8日